

農場通信 2026年 3月号

2026/2/26

トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

① 圃場 ハウス ② 試験内容 ③ 開始日 ④ 終了予定 ① 第4 A ② 大玉トマト短期品種比較試験(2作) ③ 2026/1/17 ④ 2026/6月

<p>品目</p> <p>栽培中</p> <p>栽培準備中</p> <p>今月最終</p>	圃場写真①	圃場写真②
<p>直近の環境データ・管理方法(晴天日)</p> <p>※特に表記のないものは設定と実測の温度を示しています</p>		

大玉トマト 年内作		
<p>大玉トマトの品種比較栽培を行っているハウスです。1作目は栽培終了し、現在2作目を栽培しています。定植日は1月17日 品種比較試験以外にも栽培試験も行っています。3段目までホルモン処理は完了いたしました。現状のEC管理は1.1程度ですが、3段目の着果が見受けられましたら、1.4まで徐々にあげていく予定です。また外気温も高くなり、コナジラミ発生リスクが高まってくるので、忌避剤メインで防除していきます。前作よりクレオメの栽植密度も増加させる予定です。</p>		

① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験 ③ 2025/7/28 ④ 2026/6月末

ミニトマト		
<p>7月4日に播種、7/28定植。今作も20品種の比較試験を行います。高温、短節間、食味、玉肥大の4テーマで栽培。給液EC2.4、給液量1400ml/株で管理。15-21段目を収穫中。現在21-25段目が開花しています。葉の色が薄くなっている品種があるため、草勢を維持し葉面散布を行っていきます。引き続きコナジラミ対策として、気門封鎖を中心に防除を行っていきます。</p>		

① 第4 C ② 大玉トマト品種比較試験 ③ 2025/8/18 ④ 2026/6月

大玉トマト 抑制長期作 (年1作)		
<p>7月28日播種、8月19日定植。今年度も20品種の栽培を行っています。「耐裂果性」・「短節間」・「バランス型」・「玉肥大」の4テーマで栽培中。給液EC2.3、晴天時株あたり1500ccほどで管理を行っています。</p> <p>現在、15~17段が開花中。気門封鎖剤中心とした防除によりコナジラミは減少しました。強い草勢の維持を心がけ、春以降のスタミナ切れを起こさないように管理します。</p>		

① 第4 D ② バラエティ品種比較試験 ③ 2025/8/19 ④ 2026/4月末

バラエティ トマト		
<p>7月28日に播種 8月19日に定植を行いました。今作も品種比較試験を行っています。</p> <p>1荷重は少し減少し、収量も横ばい傾向にあります。今作は3月初旬には摘芯を行います。摘芯後は給液ECを徐々に低下させていきます。作終了の4月末までには葉の養分を果実に転流しきれよう、水管理を行っていきます。</p>		

① 第4 E ② イチゴ栽培試験 ③ 2025/9/26 ④ 2026/5月末

イチゴ		
<p>9/26、10/1に定植。品種比較、クラウン温度制御、重量灌水制御の試験を実施中。EC0.8、給液250mlで管理。継続的にハチやハナアブで受粉しています。がく枯れやチップバーンが発生し内容に、カルシウム剤散布を継続中。暖かくなり、ハダニが発生し始めるので、天敵資材や農薬散布を行い予防的防除に努めます。</p>		

① 第4 J ② ココバッグ養液栽培試験
品種比較試験 ③ 2025/10/14 ④ 2026/4月末予定

キュウリ		
<p>ココバッグを使った養液栽培での品種比較試験を行っています。今作は10/14日に定植。穂木品種8種、台木品種4種で栽培中です。今年度は、ECをやや高め(2.5-3.0)、平均温度1℃程度高めに管理したためか、収量は2月3週現在で多い品種で19トン/反換算、と昨年度よりも収量が10%近く増加しています。今作は4月末~5月初旬で植替を予定していますので、後2か月でどこまで収量を伸ばせるか楽しみです。</p>		

① 第4 I ② 高糖度ミニトマト品種比較試験 ③ 2025/8/15 ④ 2026/7月頃

高糖度 ミニトマト		
<p>穂木品種6種類・台木品種6種類で高糖度栽培での品種比較試験を行います。定植は8/15、128穴プラグ苗で定植しました。11月末までに排液ECは20.0を超えて、ECストレスは十分に掛かっていますが、品種により草勢が強いままのものも見られます。糖度も品種により10度を超えるものと、8度程度のもので差が見られます(概ね草勢に比例) 3月以降は換気が多くなるので萎れに注意しながら、給液ECは現状4.5→3.0程度まで徐々に下げていきます。</p>		



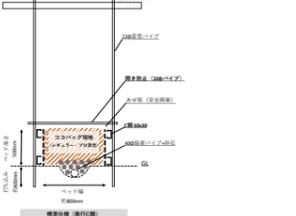
豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp

① 第6 ② キャベツ品種比較試験 ③ 2025/8月~ ④ 2026/春

キャベツ		
冬系キャベツ 5作型 ④8/20播種 2-3月収穫 ⑤8/25播種 3-4月収穫 春系キャベツ 2作型 ①8/22播種 年明け収穫 ②8/27播種 年明け収穫 初夏キャベツ 1/13播種 5-6月収穫		2-3月収穫のものが取れ始めています。低温と少ない降水量もあり、例年より若干遅れ気味です。2月に入ってからは降雨も増え、最後の玉締めりへと進んでいます。 春作については収穫は終了し、在圃性を見ている状態です。品種によっては裂球が見受けられます。 初夏キャベツの定植を2月25日に行いました。降雨状況を見ながら、灌水と追肥を行っていく予定です。

① 第3 M ② アスパラガス柵板式高畝栽培試験 ③ 2023/6/2定植④ 周年

アスパラガス		
		アスパラの「柵板式高畝栽培」の実証試験。2023年初夏に定植、2024年春から収穫開始。柵板で隔離したベッドにココバグの中身を入れて養液栽培をします。品種も新しいタイプ3種類を含む、計6種類栽培しています。 2月末時点で、一部の品種で部分的に萌芽が始まっていますが、本格的には3月上旬から。今作は灌水管理を日射比例管理として、さらなる増収を狙います。

① 第8 ② 『持続可能な施設園芸』実証試験 ③ 2025/8/22 ④ 2026/7月末

大玉トマト		
7月21日に播種、8月22日に定植を行いました。穂木はかれんを使用し、台木はアーノルドやカイゼル等、強勢品種を5種類栽培しています。 草勢としては良好です。LEDライトと天敵資材を用いて、害虫防除を行っています。夜温も高くなり、着色がより一層早まりました。内張りカーテンは外し、夜間は保温カーテンで気温維持しています。引き続き薬剤散布等を行い、病害虫防除を行っていきます。		

① 第2 ② ブロッコリー ③ 2025/08~ ④ 2026/春

ブロッコリー		
1作目 8月11日播種 9月3日定植 2作目 8月16日播種 9月10日定植 3作目 8月20日播種 9月16日定植 4作目 8月25日播種 9月20日定植 5作目 9月29日播種 9月25日定植 6作目 9月10日播種 10月5日定植 7作目 9月19日播種 10月15日定植 春作① 12月15日播種 1月26日定植 春作② 1月13日播種 3月上旬定植予定		現在、5作目を収穫中です。雨が少ない影響が大いと思いますが、生育が停滞している状態です。 春作については、1月下旬と2月下旬以降と2作目を今後定植していきます。

① 施設栽培 ② バコトツプ放飼防除試験

バコトツプ		
今作も、昨年度に引き続き、タバコカスミカメ(商品名:バコトツプ)の放飼を行っております。 キュウリでは、大きな問題もなく栽培中です。トマトハウスでは、一部でコナジラミの増加が見られていましたが、現在は減少傾向。冬の生き残りのコナジラミを以下に減らすかが、やはりポイントとなりそうです。ハウス内の室温も上がり、タバコカスミカメの個体数も増えてきました。4月にはいると、カスミカメの増加スピードが上がり、食害も出やすくなるので、管理に気をつけていきます。		

① 第7 ② 産直野菜 ③ 2025/10~ ④ 2026/初春

産直野菜		
		今月上旬をもちまして栽培を終了します。



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
 愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
 URL <https://www.toyotane.co.jp/>
 E-mail info@toyotane.co.jp